

令和4年度 議会報告会 報告書

開催日時	令和4年11月4日(金)13時30分～15時00分	会場	箕曲市民センター
相手方名	箕曲地域づくり委員会 役員(区長)	参加人数	7
出席議員	川合滋 細矢一宏 常俊朋子 阪本忠幸 木平秀喜 荊原広樹		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	市民からの要望書が無いと議員は動くことができないのか。	議員活動の中で市民からの相談や課題などに対応している。	■当日の返答どおり
2	昭和40年建設の市営住宅の解体の話はどうなっているのか。	市は新たに市営住宅の建設はせず、民間から住宅を借り上げている。赤坂・中川原市営住宅はどうするかは未着手で歯がゆい状況である。現状については把握している。	■当日の返答どおり
3	市立病院在り方検討委員会と議会の市立病院経営改革特別委員会のすり合わせ等の今後の予定はどうか？	市立病院在り方検討委員会が4回会議を開催した。令和5年2月に答申ができるので、その結果を受けて市立病院経営改革特別委員会で協議し市長に提言する。	■当日の返答どおり
4	転入者の自治会体加入率が低いことや事業のマンネリ化、参加者の固定化が課題となっている。地域福祉の向上を目指し、講座等を行っているが単発で 支え合い事業がない。解決のアドバイスはないか。	例えば住宅地は売り出した時期が違う。時期が違うがゆえにコミュニケーションが難しい。自治会長がしっかり連携を取りながら運営している状況。地域の行事に参加を促すことでお互い顔見知りになれるのではないか。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
5	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の定着については、雇用の場を考える必要がある。 ・ひとつの省庁が伊賀地域に移転するなどの大きな希望を持って、将来の名張を議会も考えてほしい。細かな取組も大切だが、100年先を見越しながら、夢ある構想を持ち、進めてほしい。 ・名張の観光、産業は、特定の産品が衰退するなど残念な状況である。「名張はこんなまち」と言える、思い切ったことをしていくべきだ。観光については、各観光地がそれぞれに取り組んでいて、一本化されていないことが課題である。 		